

医学・歯学教育の改革

医学・歯学を取り巻く環境

医学・歯学の課題

- ・患者中心の医療への期待
- ・全人的医療の展開
- ・医療事故の抑止
- ・医学・医療の高度化・多様化への対応

医学・歯学教育改革の目標

- ・コミュニケーション・安全管理能力の向上
- ・基本的臨床能力(態度・技能・知識)の修得
- ・統合型カリキュラムの導入
- ・課題探求(問題解決)型学習プログラムの提供
- ・多様な学習プログラムの設定

臨床実習の改革

カリキュラム改革

モデル・コア・カリキュラムの策定

- ・必須の態度・技能・知識の再整理
- ・医療人の素養教育の充実
(患者の権利、安全管理、コミュニケーション)
- ・学生の志向に対応した教育プログラムの提供
(地域医療の担い手、先端医療の開拓者、
国際医療協力に貢献する人材、生命科学研究者)

教育能力・体制の改革

全国医学・歯学教育指導者研修会の開催

- ・教育組織と各教員の能力の向上を目指し開催

教員の教育業績評価ガイドラインの策定

- ・教員の教育業績の適切な評価の実施

適切な評価の実施

各大学の共用の臨床実習前の試験

- ・コンピュータ試験(CBT)の第1回トライアル:
2月下旬～5月にかけて実施
- ・実技試験(OSCE)の第1回トライアル:
1月中旬～4月下旬にかけて実施
→平成17年本格実施予定
- ・臨床実習中の厳格な評価の実施

実習体制の充実

診療参加型臨床実習 ガイドラインの策定

- ・全科履修から、内科・外科
を中心とした重点的履修へ
- ・臨床実習指針(評価方法、
事故時の対応)の整備
- ・縦割り実習の改善のため
の実習体制の構築

診療参加型実習の実施

→ 幅広く質の高い臨床能力の修得

質の高い臨床能力、課題探求(問題解決)能力 → 患者中心の医療